

広報の日 研修会

＜テーマ＞

福岡教区の公式ホームページを昨年12月に開設しました。

1日のアクセス件数は5,000件もあり、

「広報」の重要性を改めて気づかされました。

そこで、「広報」という意味、そしてそのあり方を学ぶことにより、

広報の「ちから」と「重要性」を再認識し、

共同体の「和」あるいは「輪」を強め、

ひいては宣教へと向かう一助になるようにテーマを設定しました。

講師にカトリック中央協議会広報部長を務められ、現在長崎教区会計の

下窄 英知師（長崎教区司祭）をお迎えして、

広報の日の研修会を行うことに致しました。

各小教区で広報に携わる方、あるいは広報にご興味がある方に

ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

プログラム

第1部

講演：広報について「広報とはなにか」

分かち合い：参加者による意見交換

第2部

講演：共同体における広報と宣教としての広報

分かち合い：参加者による意見交換

講師 下窄 英知 師（長崎教区司祭）

1992年叙階

2002年から2010年までカトリック中央協議会で出版部、広報部、カトリック新聞にかかわる。現在長崎教区会計。

日 時：2011年5月29日(日)14時～16時

場 所：カテドラル大名町教会 1階講堂 参加費無料

主 催：カトリック福岡教区 広報委員会 共 催：福岡地区信徒協広報部会

共
同
体
の
“
わ
”
と
広
が
り
を
求
め
て

